

第 6 学年「算数」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果**
- 文章題の内容を理解し、自力解決できる児童が多くなった。
 - 既習事項を活用して問題に取り組む姿が見られるようになってきた。
- 課題**
- ▼ 「割合」や「単位量当たりの大きさ」など理解や定着が充分ではない。
 - ▼ 「数の計算」を正確にできるように練習する必要がある。
 - ▼ 作図したり、面積や体積を求めたりすることに課題がある。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 基礎的な事項を確実に理解する力。
- ◇ 既習事項を基に問題解決する力。
- ◇ 自分の考えを整理し、それを使って説明できる力。

具体的な改善策

主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 既習事項が活かせるような授業づくりをしたり、工夫された考えの書かれた児童のノートを紹介したりする。

言語活動の工夫

- 問われている内容や問題場面をより明確に捉えるために、図や式、文を活用し自分の考えを整理したり、説明し合ったりする場面を意識的に設定する。

ICT活用の工夫

- デジタル教科書を使用したり、問題への手順を示したりして児童の理解を促す。

課題解決力育成の工夫

- 自力解決の時間を多く取り、ノートに自分の考えをまとめさせる。
- 少人数グループでノートに示しながら、自分の考えを発表し合う機会を設ける。

達成目標

- 分数や小数の計算の意味について理解するとともに、分数や小数の計算が正確にできる。
- 問題解決するために既習事項を活用し、絵や図や数直線に表しながら順序立てて情報を整理し、問題を解決するための考えを書き表すことができる。
- 数学的に表現・処理したことを振り返り、他者の考えにふれて考えを再構築できる。